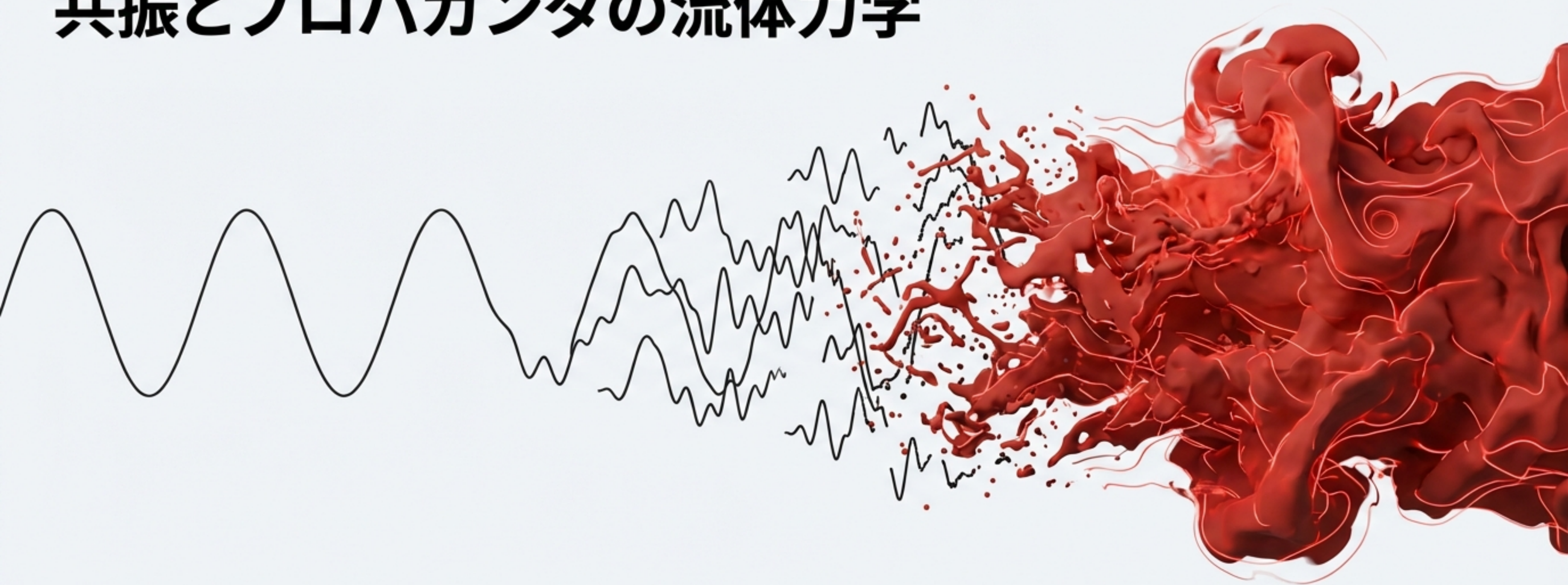


合意形成の物理 第10論

共振とプロパガンダの流体力学

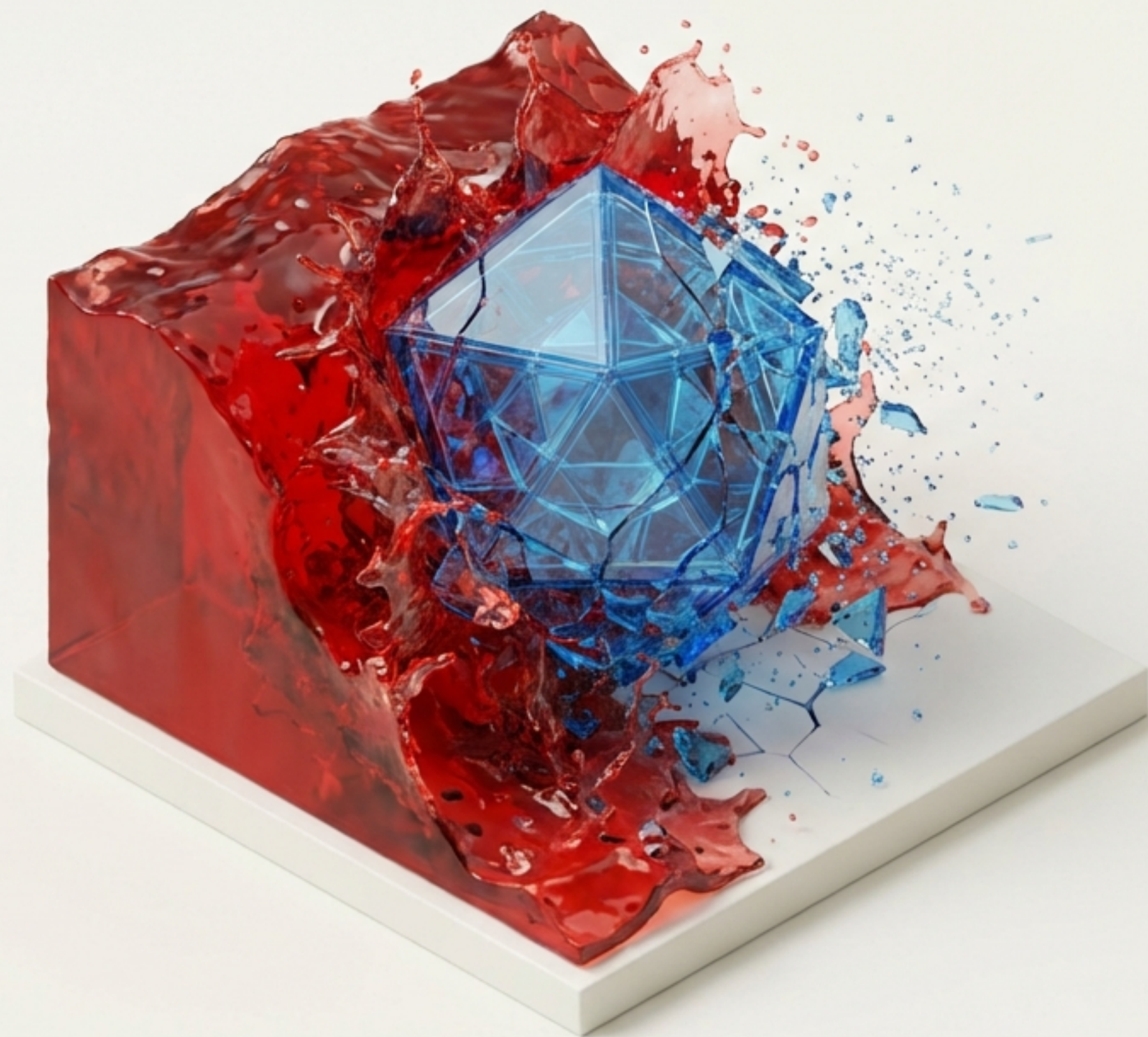


帯域占有を検知・減衰・冷却せよ

Theory by Nakagawa Master

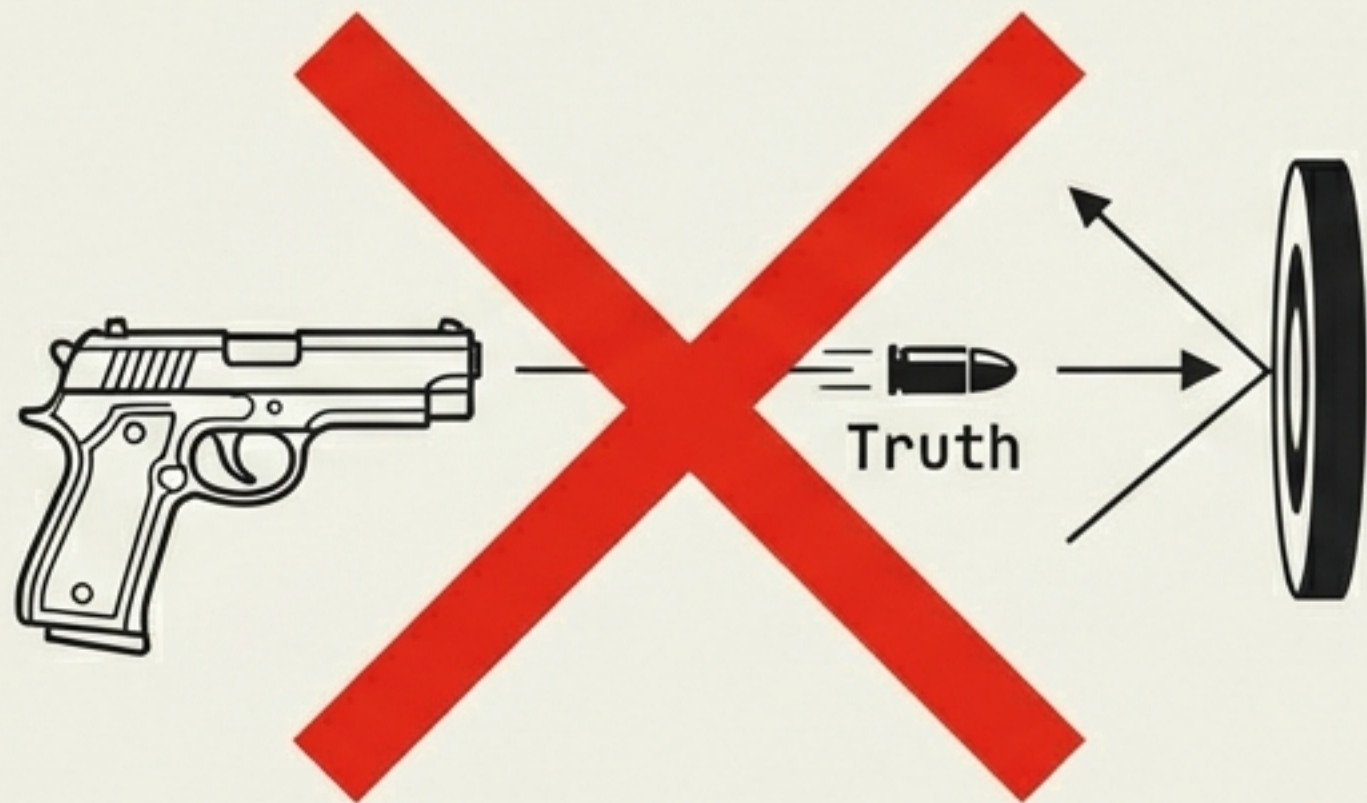
なぜ、「正論」は熱狂に敗北するのか？

- 事実を突きつけても、場が壊れてしまう
- 敗因は「論理の弱さ」ではない
- 内容 (Content) ではなく、回路 (Circuit) が焼き切れている
- 問い：「正しさが届くための物理的スペース」は残っているか？

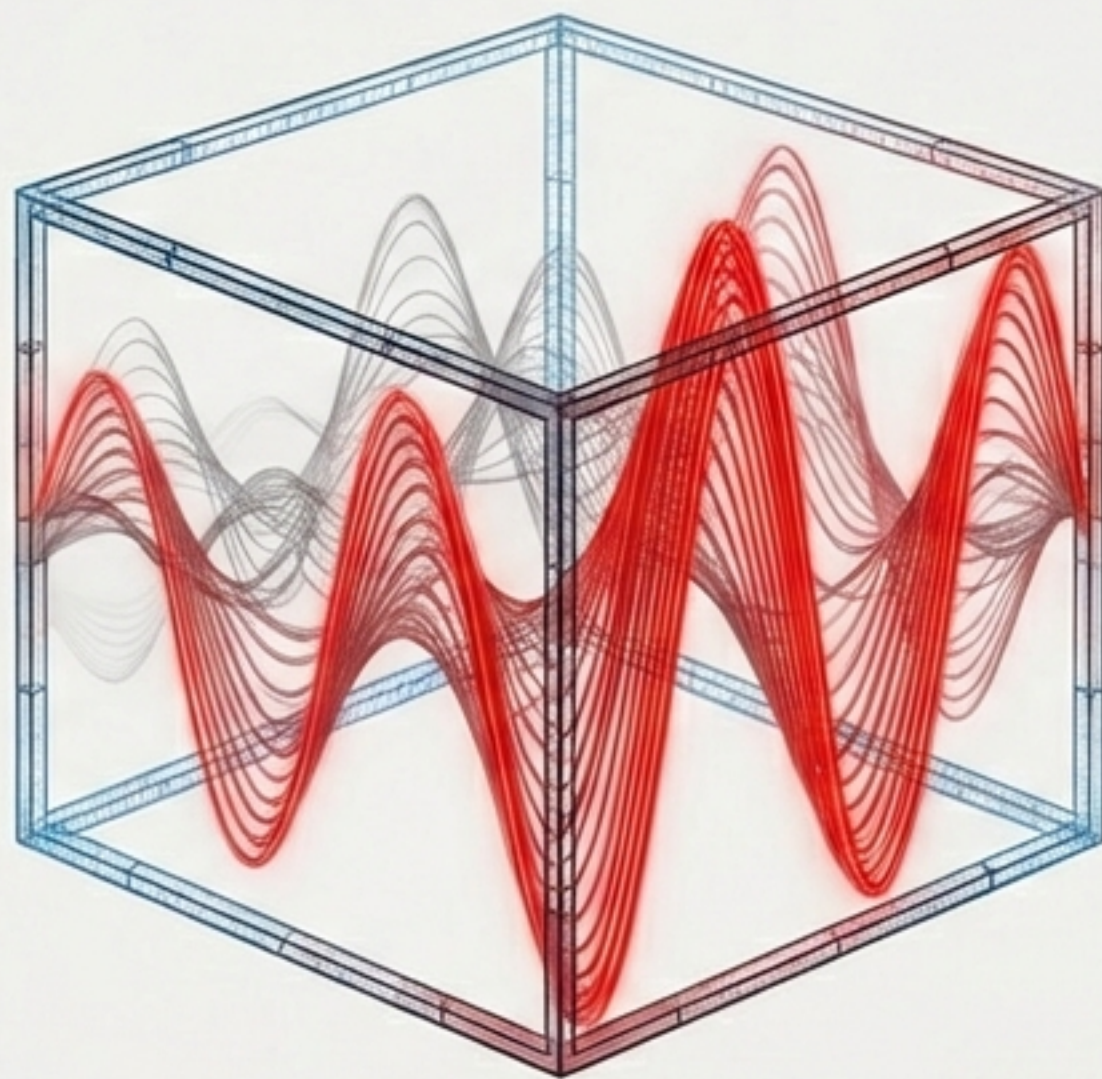


言葉は「弾丸」ではない。「周波数」である。

弾丸モデル (内容の勝負)

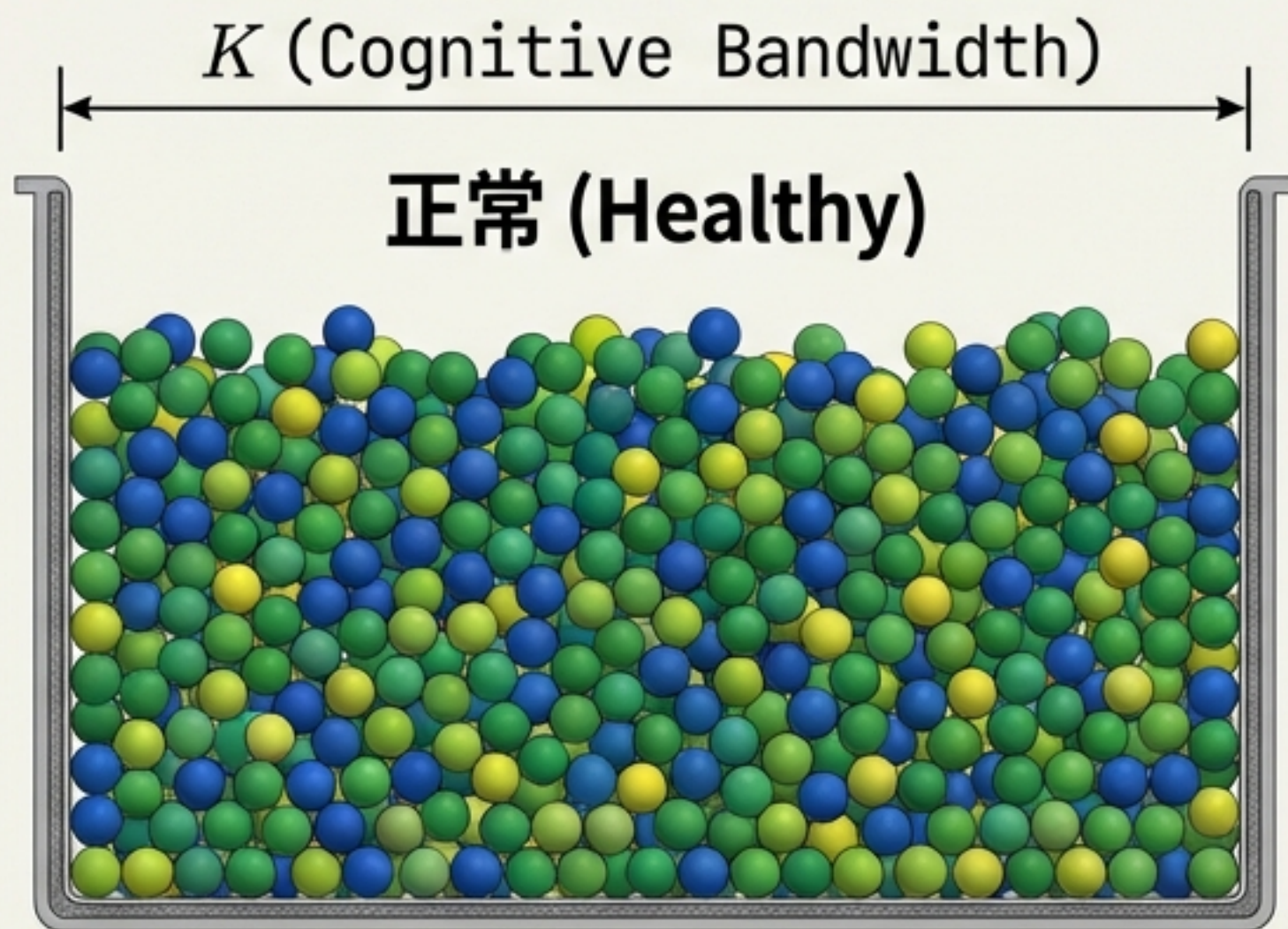


帯域モデル (空間の占有)

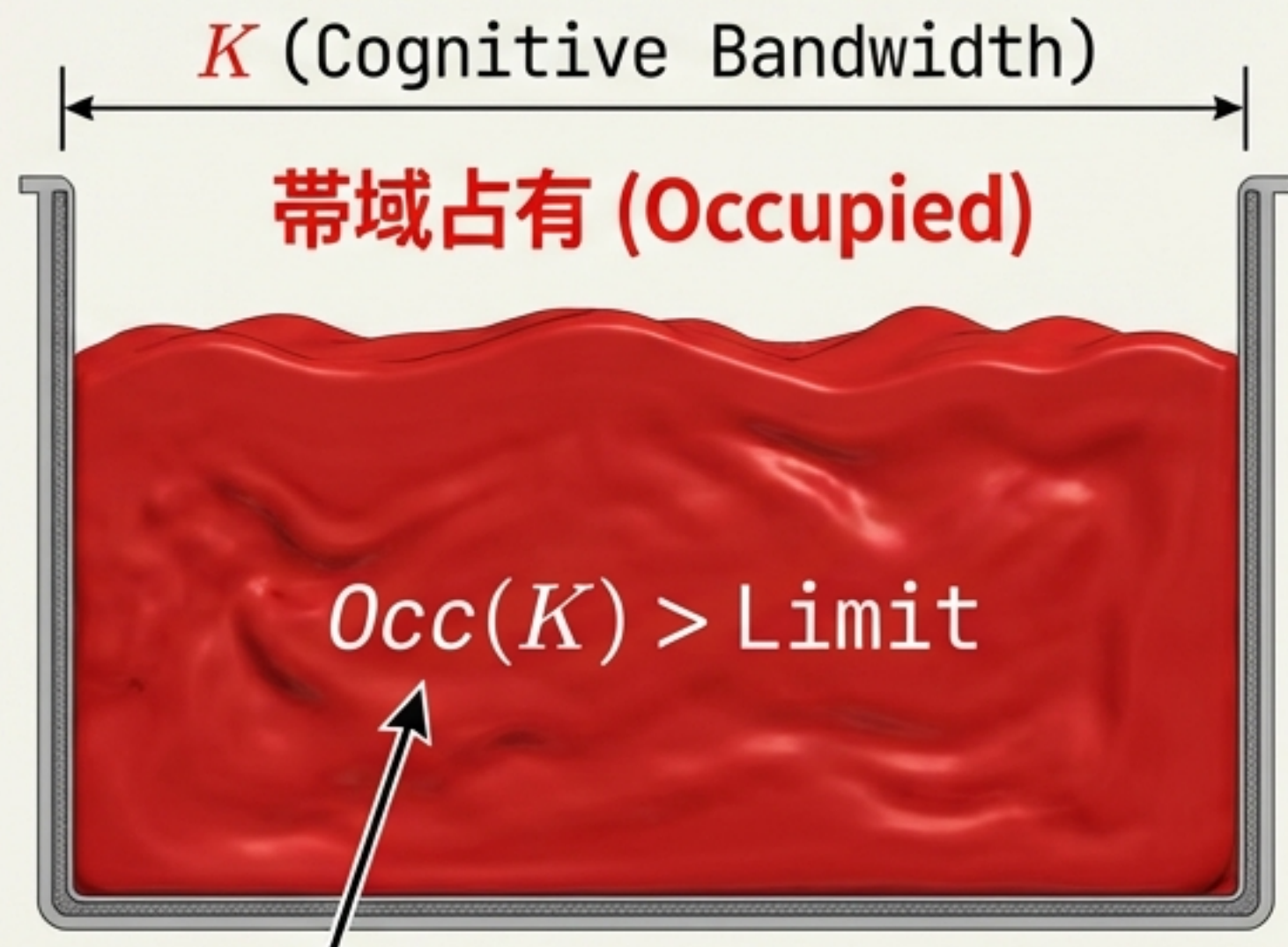


強い波は、弱い波を物理的に押しのける。

プロパガンダの再定義：嘘ではなく「帯域占有」



正常 (Healthy)



帯域占有 (Occupied)

- 認知帯域 K ：集団が同時に保持できる「多様性・論点」の上限容量
- 占有率 $Occ(K)$ ：単一波形による埋没率

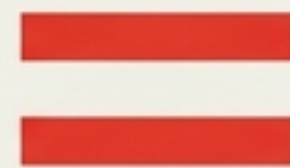
共振 (Resonance) の発生メカニズム



1. 反復
(Repetition)



2. 情動同期
(Sync)



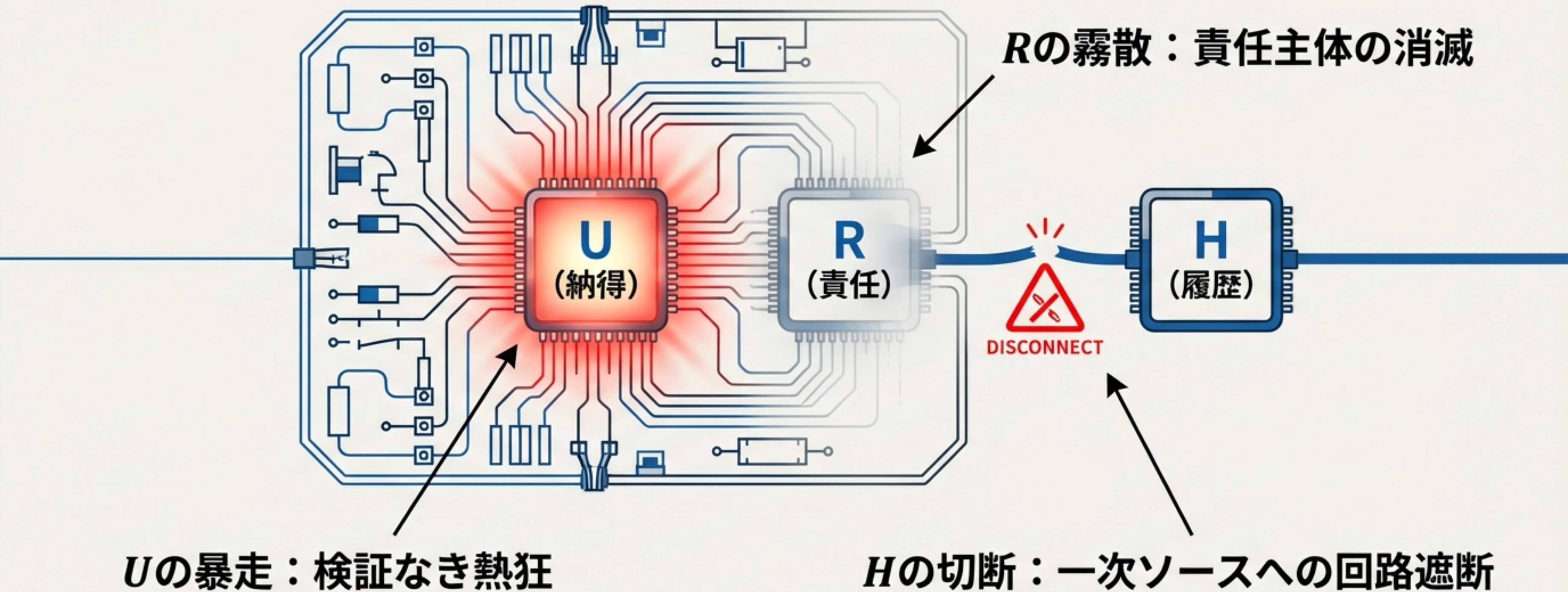
3. 単一周波数ロック

反復：意味ではなく回路の物理的占有

同期：意味ではなく「温度」を揃える

ロック：異なる意見が「ノイズ」として排斥される

参照の崩壊： $S = U \times R \times H$



Observation Protocol : 空気を「測定対象」に変える



直感・空気 (NG)

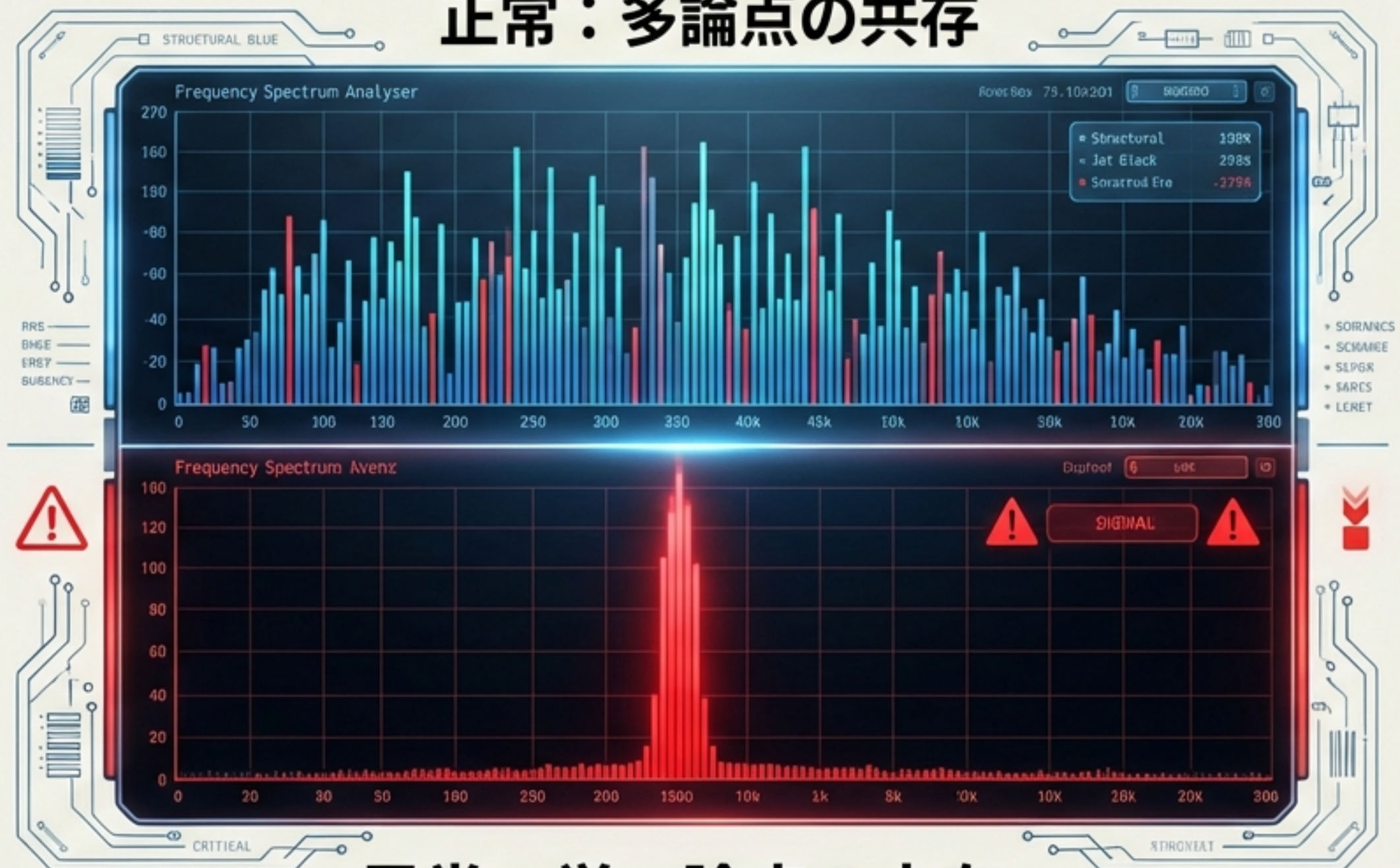


観測 (OK)

客観的な測定のみが、正当な防衛を可能にする。

観測指標 V：多様性指数 (Diversity Index)

正常：多論点の共存

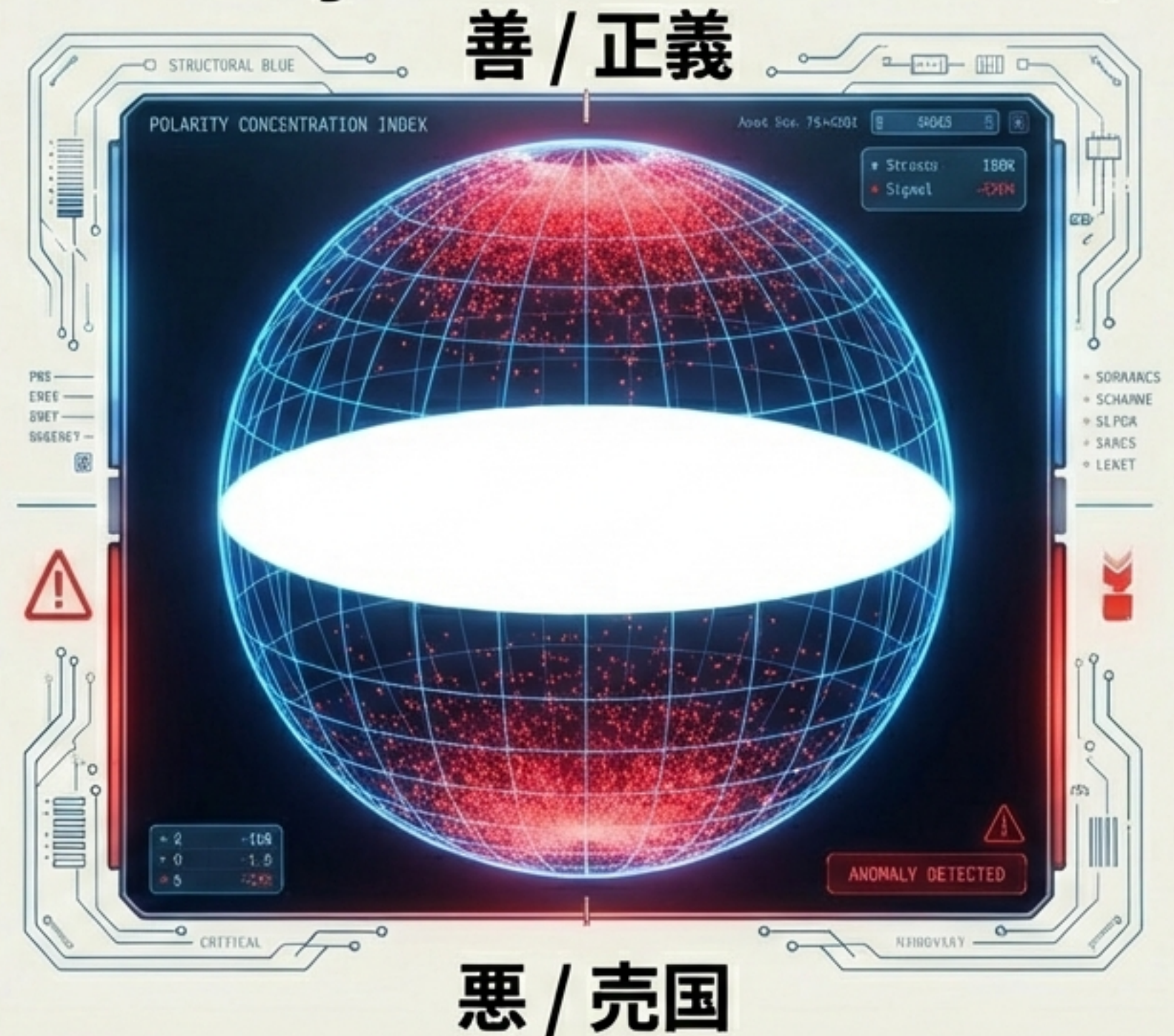


異常：単一論点の占有

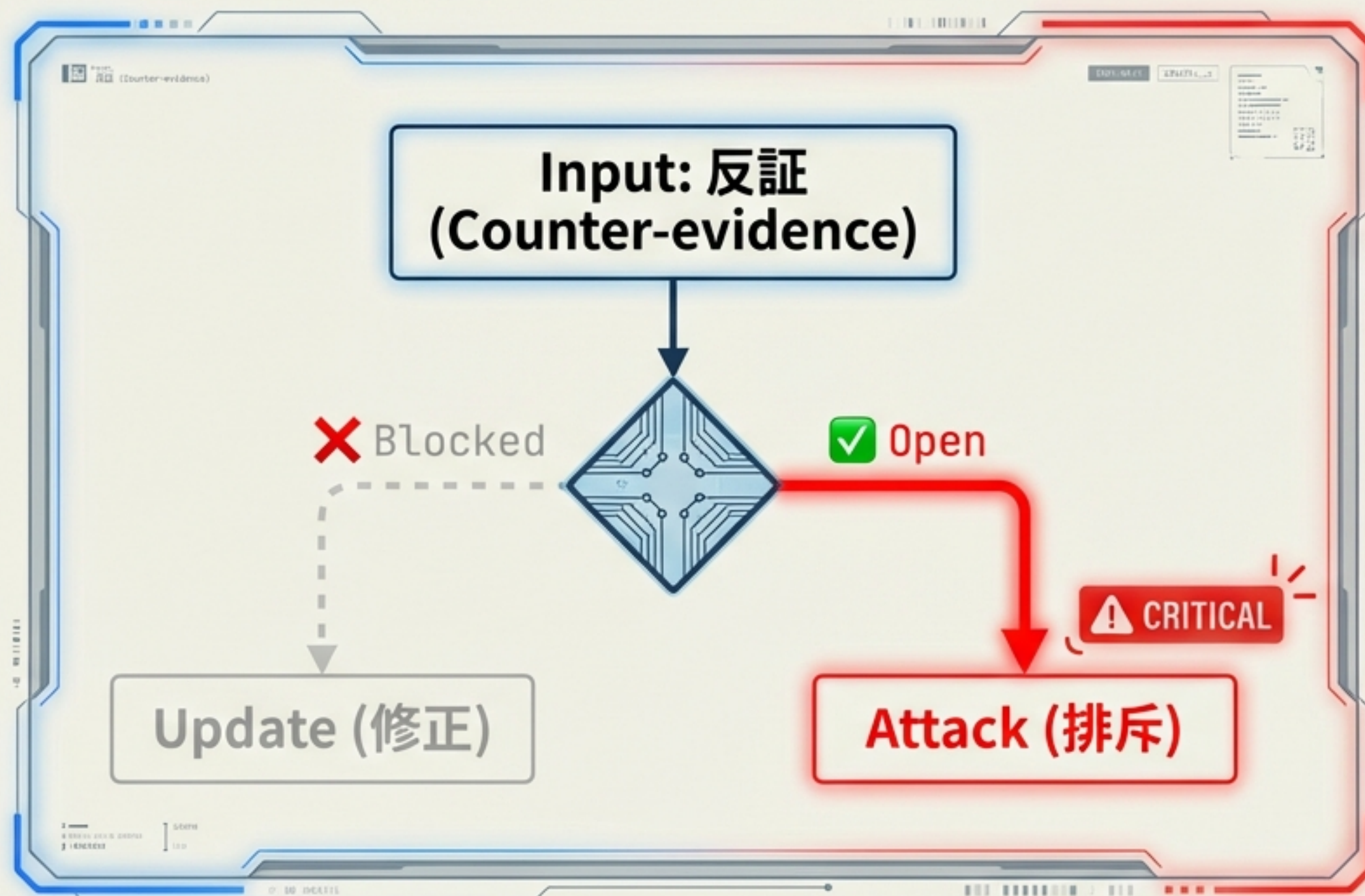
- 発言量ではなく「論点の種類」を測る
- 異常検知：話題が一つに染まる。同じ語彙しか出てこない。

観測指標 P：極性集中度 (Polarity Concentration)

- 「敵・味方」「善・悪」など極性語の出現率
- 異常検知：中間的な意見が消滅し、踏み絵（所属確認）が始まる。

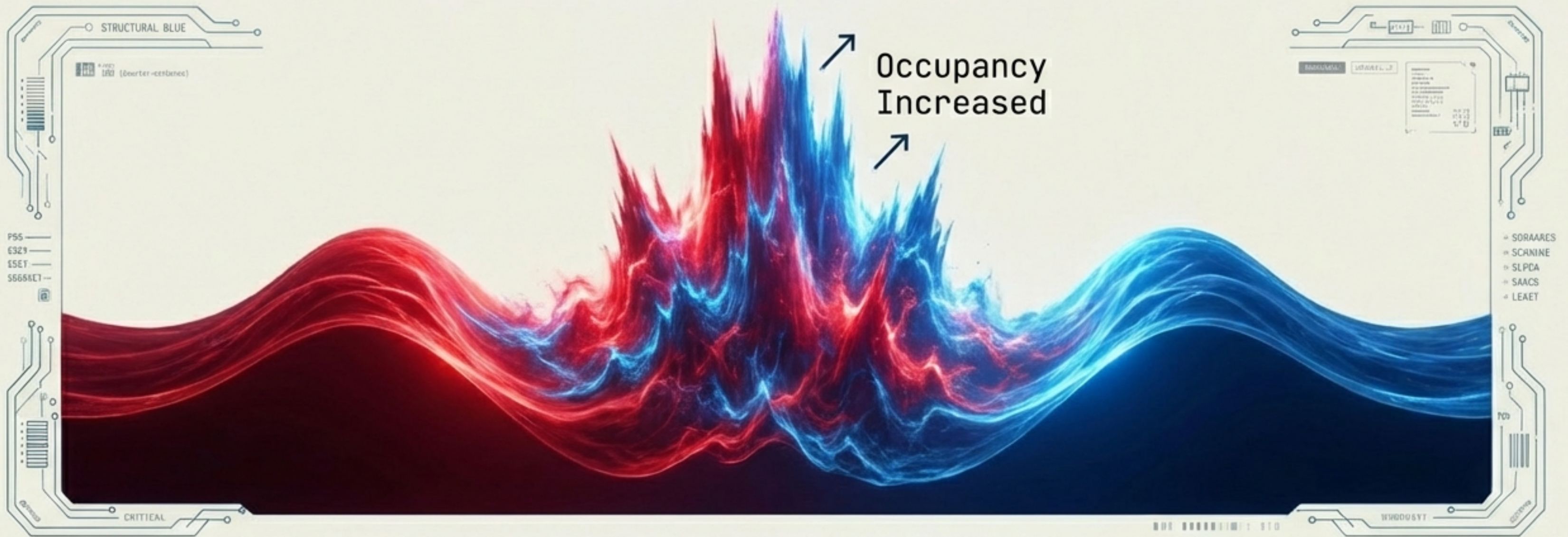


観測指標 A : 反証受付率 (Acceptance of Refutation)



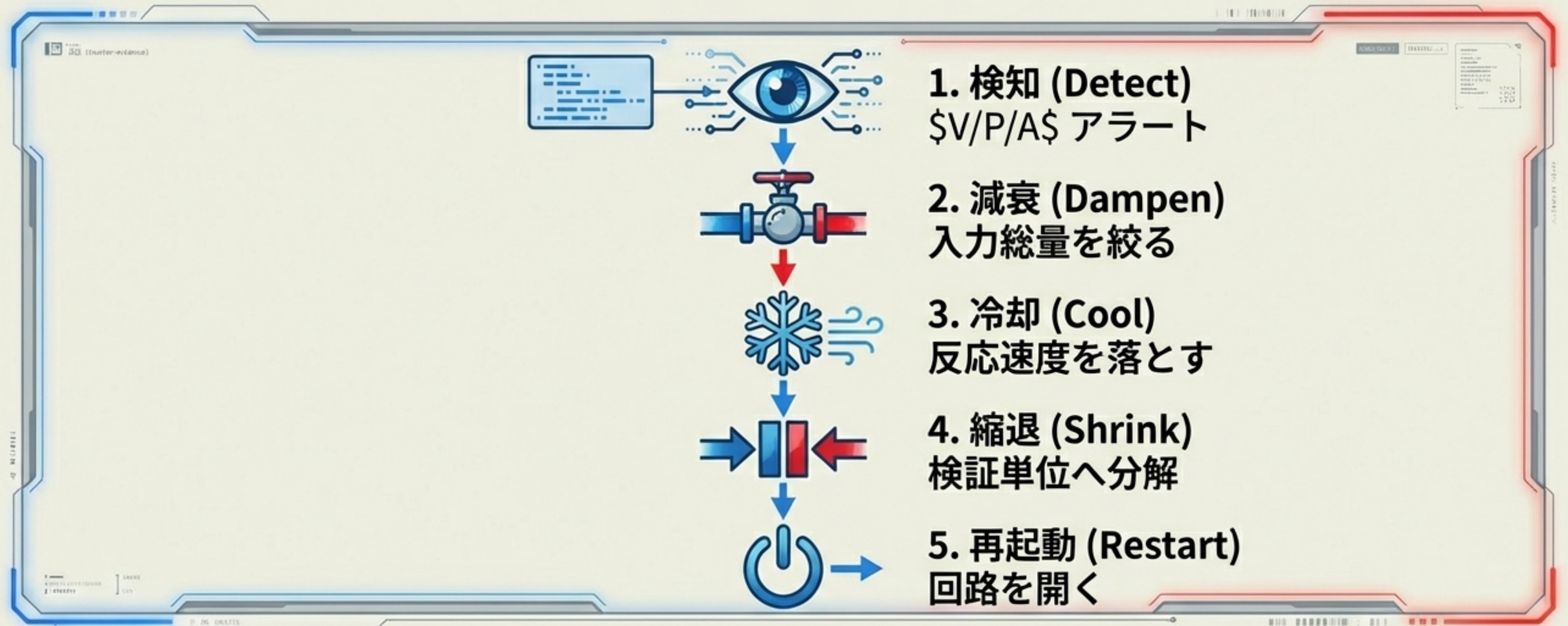
- 反論が「議論」ではなく「攻撃」として処理される率
- A の低下は、共振が臨界点を超えた決定的な合図である。

防衛の鉄則：対抗言説（Counter-Narrative）は逆効果

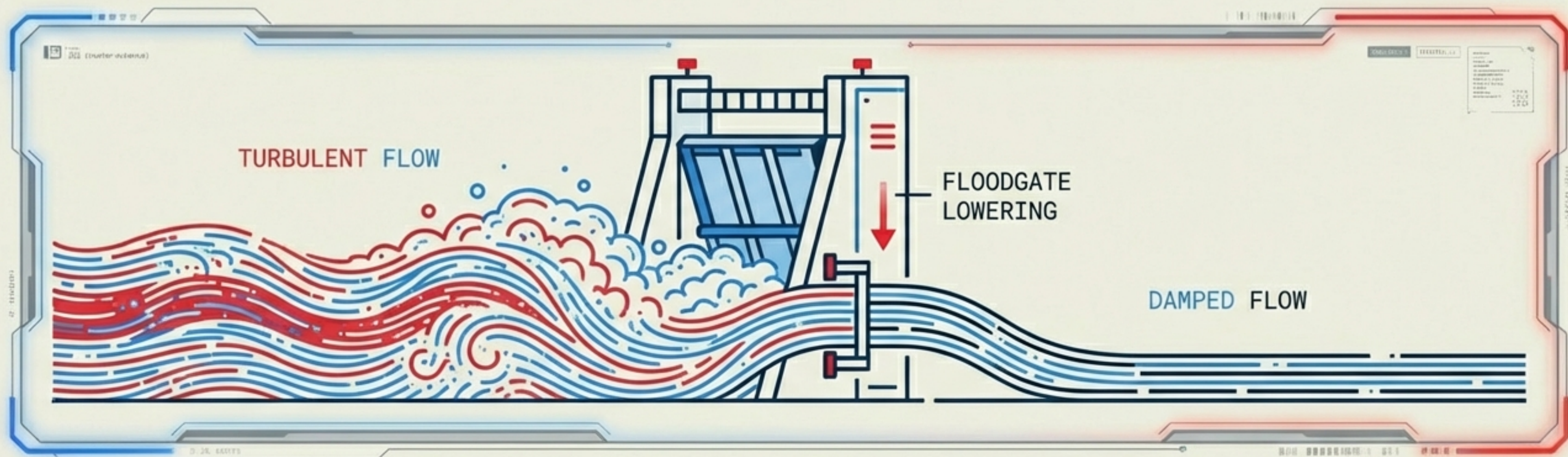


- 共振している場に「正論」を投げることは、燃料（周波数）を足すこと
- 必要なのは「論破」ではなく「運用の正常化」

Defense Protocol : 対抗せず、整流せよ

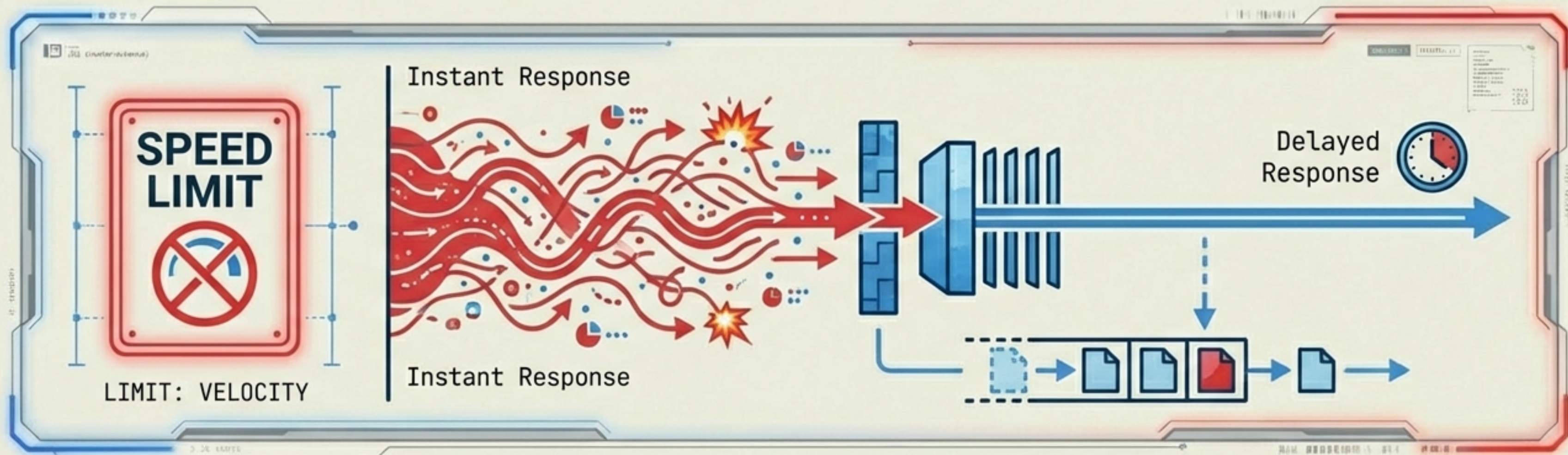


Step 2 減衰 (Damping) — 増幅回路を切る



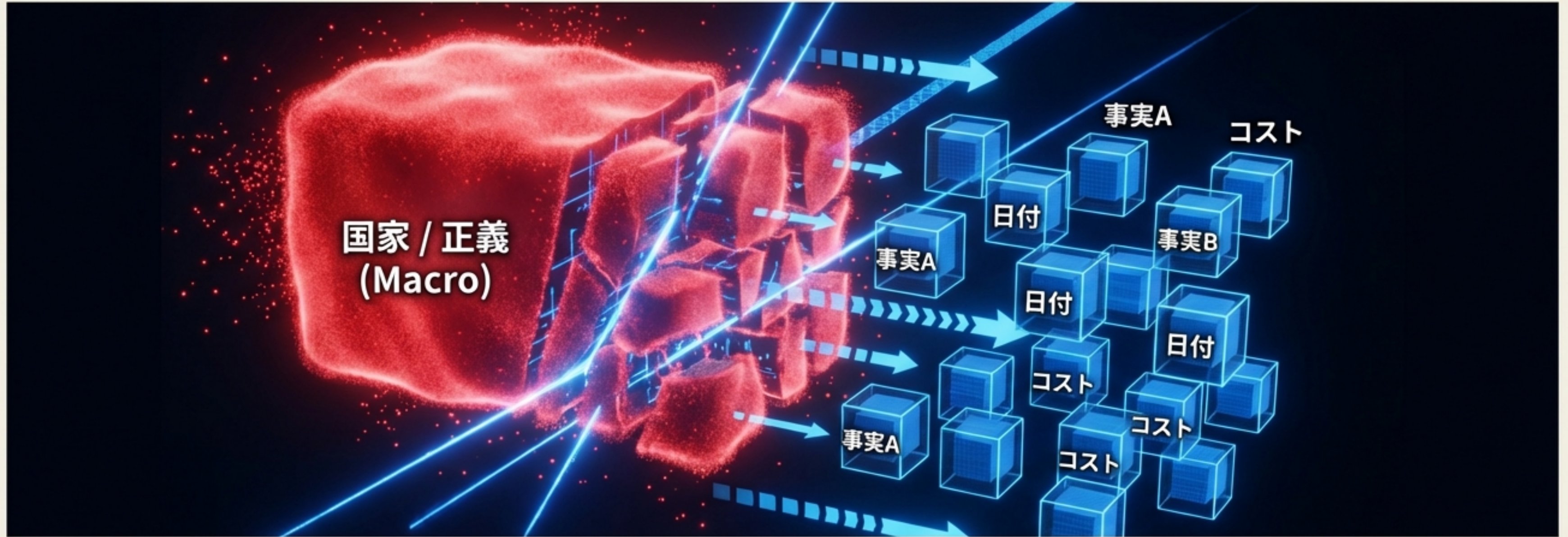
- 内容を選別せず「形式」を制限する
- レート制限：連投・拡散の利得を下げる
- 無信号挿入：意図的な「沈黙」を作り、連鎖を断つ

Step 3 冷却 (Cooling) — 速度を落とす



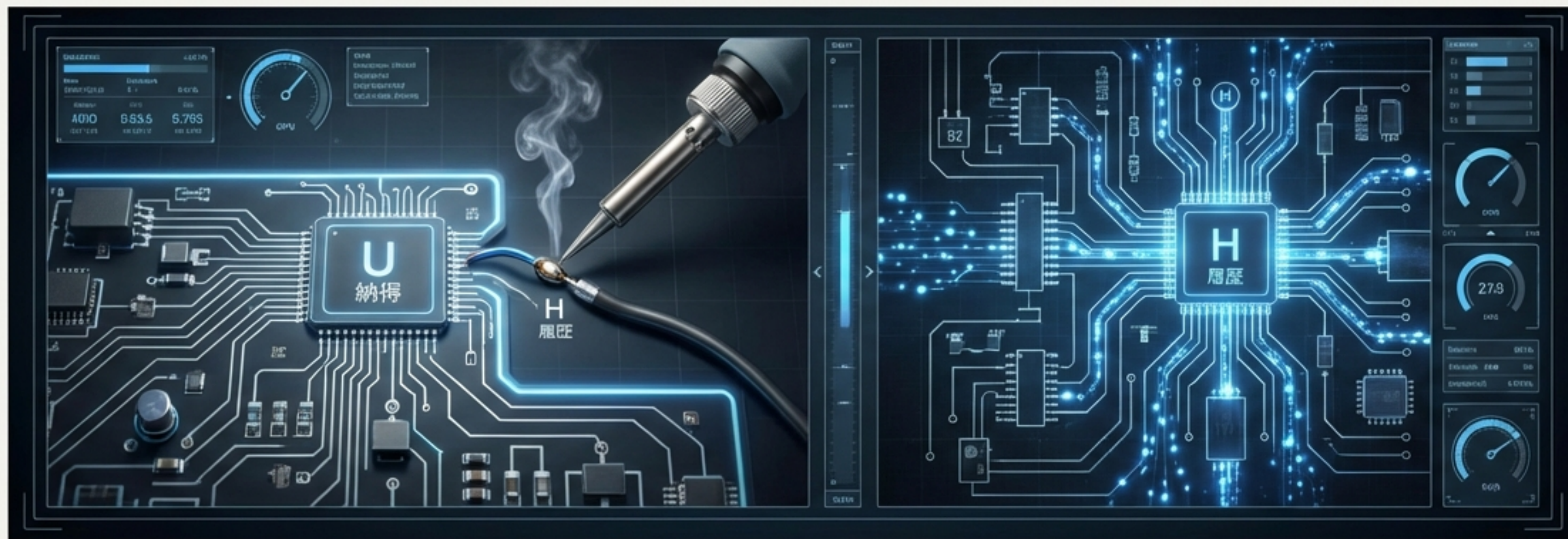
- 熱狂の本体は「速度」である
- 強制待ち時間：即レスをシステム的に禁止する
- 拡散レート制御：情報の物理的な遅延 (Delay) を入れる

Step 4 縮退 (Shrink) — 検証可能単位へ



- 大きな主語（国家、正義）を禁止する
- 議論を「誰が (R)」「何を根拠に (H)」言っているか検証できるサイズまで解体する

Step 5 再起動 (Restart) — 履歴への再接続



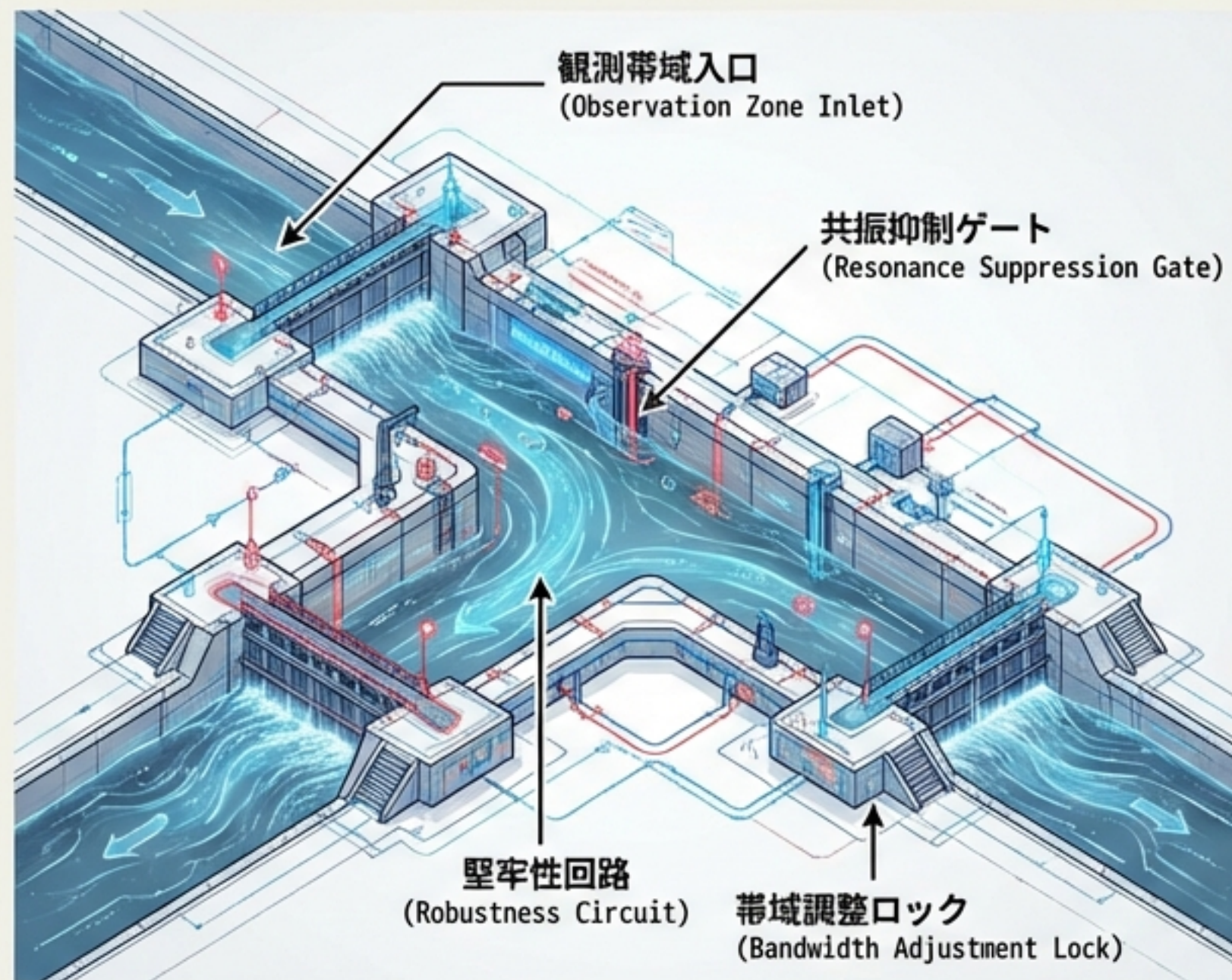
- U (納得) を、H (履歴) に物理的に接続し直す
- 「分かった気」から「検証できる」状態へ
- ここで初めて、内容の真偽を議論する

監査入口の常設：これは検閲ではない



- 帯域操作が「検閲」にならない条件は、基準の公開である
- 棄却窓：異議を申し立てる回路を常に開けておく
- ログの可視化：「何を消したか」ではなくなぜ止めたか（数値）」を公開する

結論：統治とは「観測帯域」の設計である



- 統治とは、人々を正しく導くことではない
- 統治とは、「共振が起きても壊れない観測帯域を設計すること」である
- 思想の善悪ではなく、回路の堅牢性を担保せよ

正しさを勝つな。

「検証可能性」を回復せよ。

Don't win with truth. Restore verifiability.

Source: 合意形成の物理 第10論
Theory by Nakagawa Master (灯火構想と構造論)

URL: master.ricette.jp

